

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 組
 教科担当者： （1 組： 栗原）
 使用教科書： （ 数 I 708 「高校数学 I」 実教出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
5 章 データの分析 1 節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え方 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 色々な調査などによって得られたデータを棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフ、などにまとめる。 ・度数分布表 ・ヒストグラム <ul style="list-style-type: none"> ・与えられたデータの代表値を求める。平均値、中央値、最頻値 ・与えられたデータの四分位範囲、四分位偏差を求める。 ・与えられたデータの5数要約し、箱ひげ図に表す。 ・与えられたデータの分散、標準偏差を求める。 ・2つのデータの散布図を表す。相関関係を把握し、相関係数を求める。 	【知識・技能】 (発問評価・課題提出・定期考査) 【思考・判断・表現】 3. データの代表値 (2) ○最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ○どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 ○データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。 4. データの散らばり (3○四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。 ○四分位範囲、四分位偏差の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。 ○箱ひげ図をかくことができる。 ○外れ値について理解している。 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、分散、標準偏差を求めることができる。 ○四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 ○標準偏差をもとに、平均値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
4 章 集合 1. 集合と照明 2. 命題と照明 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 	【知識・技能】 ○集合を、要素を書き並べて表すことができる。 ○共通部分、和集合、空集合について理解している。 ○2つの集合の包含関係を判定することができる。 ○全体集合、補集合について理解している。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【思考・判断・表現】 ○集合に関する記号を、適切に用いることができる。 ○ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ○集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 外国語 科目 英語

教科: 外国語 科目: 英語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1組

教科担当者: (1組: 増田千裕

使用教科書: (All Aboard! English Communication I)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】基本的な語句や文を習得し、聞く・話す・読む・書くの各技能を向上させる。

【思考力、判断力、表現力等】基本的な語句や文を用いて、必要な情報や気持ちなどを目的に応じて伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】話し手や書き手の意図をよりよく理解しようと努力し、自らも積極的にコミュニケーションをはかる。

科目 英語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な語句や文を習得し、それらを駆使して、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりできる。	話し手、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	話し手や書き手の意図をよりよく理解しようと努力し、自らも積極的にコミュニケーションをはかろうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕 書					
A Funny Picture from the Edo Period 【知識及び技能】受動態を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。	・指導事項 受動態 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1 台端末の活用	○					○	○	○	5
A Diary of Hope 【知識及び技能】比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。	・指導事項 比較表現 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1 台端末の活用	○					○	○	○	8
A Door to a New Life 【知識及び技能】現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。	・指導事項 現在完了形 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1 台端末の活用						○	○	○	6
Fighting Plastic Pollution 【知識及び技能】分詞が用いられた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。	・指導事項 分詞 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1 台端末の活用						○	○	○	10
Pigs from across the Sea 【知識及び技能】関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】相手の意見を知り、自分の考えをまとめて相手に伝えようとする。	・指導事項 関係代名詞 ・教材 教科書・授業プリント ・一人1 台端末の活用						○	○	○	8
										57

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：（1組：能代谷 優）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（新編 生物基礎（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴についての観察・実験などを通して、生物の多様性や共通性、免疫の働きや植生など、生物に関する知識を身に付ける。また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編生物の特徴 1章生物の特徴 【知識及び技能】 ・生物の多様性と共通性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の多様性と共通性について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の多様性と共通性について知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第1編生物の特徴 2章生物とエネルギー 【知識及び技能】 ・生体内のエネルギーについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生体内のエネルギーについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生体内のエネルギーについて知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	10
	2編遺伝子とそのはたらき 第1章遺伝子情報とDNA 【知識及び技能】 ・遺伝子について理解している。 ・DNAについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・遺伝子について説明できる。 ・DNAについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・遺伝子について知識を得ようとしている。 ・DNAについて知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	2編遺伝子とそのはたらき 第2章 遺伝子情報とDNA 【知識及び技能】 ・たんぱく質について理解している。 ・細胞の分化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・たんぱく質について説明できる。 ・細胞の分化について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・たんぱく質について知識を得ようとしている。 ・細胞の分化について知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	3編ヒトの体の調節 1章ヒトの体を調節する仕組み 【知識及び技能】 ・体内環境について理解している。 ・生体内の情報伝達について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・体内環境について説明できる。 ・生体内の情報伝達について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体内環境について知識を得ようとしている。 ・生体内の情報伝達について知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	7
	3編ヒトの体の調節 2章免疫の働き 【知識及び技能】 ・免疫について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・免疫について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・免疫について知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○		7
	定期考査			○	○		1

3 学 期	4編生物の多様性と生態系 1章植生と遷移 【知識及び技能】 ・植生と遷移について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・植生と遷移について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・植生と遷移について知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	4編生物の多様性と生態系 2章生態系と生物の多様性 【知識及び技能】 ・生態系と生物の多様性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生態系と生物の多様性について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系と生物の多様性について知識を得ようとしている。	・指導事項 ・教材 教科書 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教科： 地歴 科目： 歴史総合 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者： （ 1 組： 山口聖未 ）

使用教科書： （ 帝国書院「明解 歴史総合」 ）

教科 地歴 の目標：

- 【知識及び技能】 歴史の特徴や転換点となる事象について基礎的な知識を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、議論する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 学習に興味関心を持ち、歴史を主体的に学ぶ資質・能力を育成する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の基本的な知識を身に付け、日本や世界がどのように現代の姿になったのか大観する。	記述や資料から情報を読み取ったり、他者との意見交換を通して、歴史を考察し、表現する。	学習に興味関心を持ち、歴史を主体的に学ぶ資質・能力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	歴史の扉 【知識及び技能】 歴史を学ぶための基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と世界の横のつながりと、年代の縦のつながりを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関心を持つ。	・年代の表し方 ・時代区分 ・日本の地域区分 ・世界の主な国 ・資料を基に問いを立てる	【知識・技能】 ・年代や地域区分の基礎的な知識を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・歴史の横と縦のつながりを捉えられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	9
	江戸時代の日本と結びつく世界 【知識及び技能】 江戸時代成立期の時代背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、意思決定の過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・アジアの中の江戸幕府 ・成熟する江戸社会 ・清の繁栄と結びつく東アジア ・アジア、アメリカに向かうヨーロッパ	【知識・技能】 ・江戸幕府成立期の世界について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	6
	欧米諸国における近代化	・イギリスの革命とアメリカの独立		○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
	欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 フランス革命からナショナリズム形成の過程を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 倫理的な視点を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・フランス革命 ・フランス革命の影響と国民意識の芽生え ・産業革命で変わる社会 ・イギリス繁栄と国際分業体制	【知識・技能】 ・フランス革命と産業革命について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○		○	9
	近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 19世紀後半の世界の変化を捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・1848年近代ヨーロッパの転換点 ・イタリア、ドイツの統一とロシアの近代化 ・アメリカの拡大と第二次産業革命 ・帝国主義と世界の一体化	【知識・技能】 ・19世紀後半の世界に於いて、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>アジア諸国の動揺と日本の開国</p> <p>【知識及び技能】 江戸幕府開国に至るまでの背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ・南、東南アジアの植民地化 ・ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ・黒船の来航と日本の対応 ・新体制の模索と江戸幕府の滅亡 	<p>【知識・技能】 ・江戸幕府開国に至るまでの背景を理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	8
	<p>第一次世界大戦と日本の対応</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦に至るまでの背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの緊張とバルカン半島の緊張 ・総力戦となった第一次世界大戦 ・ロシア革命と大戦の終結 	<p>【知識・技能】 ・第一次世界大戦の背景について、基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	8
	<p>国際協調と大衆社会の広がり</p> <p>【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制と大衆社会に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制の成立 ・東アジアの民族自決の行方 ・中等、インドの民族自決の影響 ・ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ・大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ・日本における大衆社会の形成 	<p>【知識・技能】 ・ヴェルサイユ体制と大衆社会について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	7
	<p>日本の行方と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が与えた影響 ・ファシズムの台頭と拡大 ・政党政治の断絶と満州事変 ・日中戦争の始まり ・第二次世界大戦の展開 ・戦局の悪化と被害の拡大 ・第二次世界大戦の終結とその惨禍 	<p>【知識・技能】 ・第二次世界大戦について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>再出発する世界と日本</p> <p>【知識及び技能】 戦後の世界に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の新たな国際秩序 ・冷戦の始まり ・日本撤退後の東アジア ・日本の改革と独立の回復 	<p>【知識・技能】 ・戦後の世界について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。</p>	○	○	○	15
	<p>定期考査</p>			○	○		1
							合計
							86

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1 組： 中村 内田 ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の歴史やルールを知り、簡単な動きから複雑な動きを習得できるようにする。其々の運動種目の体の動きの着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方ができるようにする。	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。	運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどや、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 サッカー テニス	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 バドミントン バレーボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
2 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 バドミントン・テニス バスケットボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など、程度や性別等の違いを超えて仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ソフトボール 卓球	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
3 学期	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 持久走 球技 卓球	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	14
							合計
							78

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 情報 科目 実生活と情報

教科：情報 科目：実生活と情報 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～ 組
 教科担当者：（1組：鈴木勝雄）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（東京書籍 新編 情報I ）

教科 情報の 目標：
 問題解決の方法について学ぶ。コミュニケーションの多様化について学ぶ。データベースの管理と操作
 【知識及び技能】について学ぶ。データの分析と分類の方法について学ぶ。プログラミングのパラダイムの考え方を
 知る。
 不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べることができるようになる。情報デザインが効果的に
 【思考力、判断力、表現力等】用いられる場合について学ぶ。人工知能と仕事の関係について考える。プログラミン言語の選択につ
 いて考える。
 コンテンツ制作、コンテンツの発信をどのように行うか考える。モデル化を元に考えることができる。
 【学びに向かう力、人間性等】プログラミングに取り組むことができる。

科目 実生活と情報の 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
問題解決の方法について学ぶ。コミュニケーションの多様化について学ぶ。データベースの管理と操作について学ぶ。データの分析と分類の方法について学ぶ。プログラミングのパラダイムの考え方を知る。	不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べることができるようになる。情報デザインが効果的に用いられる場合について学ぶ。人工知能と仕事の関係について考える。プログラミン言語の選択について考える。	コンテンツ制作、コンテンツの発信をどのように行うか考える。モデル化を元に考えることができる。プログラミングに取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	A 単元 問題解決 【知識及び技能】 問題解決の方法について学ぶ。情報社会の進展と情報技術について知識を深める。情報社会の進展と情報技術について学ぶ。不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べることができるようになる。	・指導事項 情報技術の発展と生活の変化を理解する。情報システムによる情報の流れを体験し、理解する。情報モラルや法整備の重要性を理解する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 問題解決学習のステップを理解できる。情報システムとそれを実現している情報の流れを理解する。情報システムの活用と、社会への影響を知る。[知]	○	○	○	10
	B 単元 情報デザイン 【知識及び技能】 コミュニケーションの多様化について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 情報デザインが効果的に用いられる場合について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 コミュニケーション手段の分類や特徴を考える。コミュニケーションの手法によってどのように情報が伝わるかを研究する。効果的なコミュニケーションのためのデザインを学習する。 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 状況に適したコミュニケーション手段を考え、選択することができる。 【思考・判断・表現】 コミュニケーション手段の分類や特徴を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、多様な意見をまとめようとしている	○	○	○	9
	C 単元 メディア 【知識及び技能】 メディアの特性と利用とコミュニケーションの多様化について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 学校をPRする手段を考える 【学びに向かう力、人間性等】 コンテンツ制作、コンテンツの発信	・指導事項 メディアの特性について学習する。アクセシビリティやユニバーサルデザインを考えた情報コンテンツの作成を学習する。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 メディアの特性を理解できる。 【思考・判断・表現】 特性に応じたメディアの利用を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、学校PR方法考えようとしている。	○	○	○	12
	D 単元 人工知能と仕事 【知識及び技能】 人間の知的活動への影響について学ぶ。機械学習と人工知能 【思考力、判断力、表現力等】 人工知能と仕事の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 身近な情報システムや人工知能の影響などの問題について学習する。ニューラルネットワークや深層学習を知る。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 サポートベクターマシンがどのようなものか理解できる。人工知能、機械学習、深層学習の関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 情報技術の課題を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 クラスメートと主体的に話し合える。	○	○	○	4
2 学 期	E 単元 データの収集と整理 【知識及び技能】 データベースの管理と操作について学ぶ。データの収集と整理の仕方について学び、データの分析と分類の方法について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 データの収集方法と収集されたデータの整理の仕方や注意点を理解する。データを実際に収集し、整理することでデータの収集と活用する方法を身につける。相関関係と因果関係の違いを理解する。 ・教材 教科書	【知識・技能】 ・データの収集と収集されたデータの整理する方法を理解できる。相関関係と因果関係の違いを理解し、適切に判断できる。 【思考・判断・表現】 適切な欠損値の扱いを考えることができる ・協力して積極的にデータの収集を行い、分析した結果をほかの人にわかりやすいように	○	○	○	18
	F 単元 モデル化 【知識及び技能】 モデル化とはなにかについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化の評価と検証について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ガチャが何回当たるかをモデル化を	分析の結果できたモデルが適切かどうかを考える必要性を学習する。過剰適合や多重共線性とその対策について学習する。 ・ガチャのモデル化とシミュレーションを行う。プログラムやモデルの数式の一部を変化させ、より適切なモデルを検討したり、考察	【知識・技能】 ・モデル化を理解できる。・モデル化の精度を上げる方法を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・モデルの適切性を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムの一部を変更し、より適切なモデルを検討している。	○	○	○	7
	G 単元 情報システム 【知識及び技能】 情報システムとはなにかを学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムの仕組みについて考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 現在の情報システムについて考察す	どのような情報技術を活用し、身近な生活を支える情報システムが実現されているかを理解する。仮想通貨や電子マネーなど、情報システムのサービスの利用が生活に与える効果と影響を考える。情報システムの評価のための基本的な考え方を知る。情報システムの信	【知識・技能】 ・ICTタグやNFCなど、情報システムを実現している技術と情報の流れを理解する。・情報システムの評価の基本的な考え方R A S I Sを理解できる。 C情報システムの信頼性の重要性を理解し、そのための考え方を理解できる。 【思考・判断・表現】	○	○	○	3
	H 単元 情報セキュリティ技術 【知識及び技能】 情報セキュリティについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】	情報セキュリティのための3原則を学ぶ。情報セキュリティを高めるための技術を学習する。暗号化の技術、特に共通鍵暗号方式と公開	【知識・技能】 ・情報セキュリティの基本的な考え方やセキュリティポリシーを理解できる。 ・情報セキュリティを高めるための技術を理	○	○	○	3

	情報セキュリティをより効果的に使う為にはどうすべきかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 考えた結果を発表する。	鍵暗号方式の仕組み、違いを理解する。	解できる。 ・暗号化技術、特に共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の仕組み、違いを理解できる。 【思考・判断・表現】	○	○	○	○
3 学 期	I 単元 情報システムの設計 【知識及び技能】 問題解決の計画進行について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 どのようにすればシステム化できるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 考えた結果を発表する。	情報システムの設計の流れを学習する。プロジェクト・マネジメントとは何か、計画進行を管理するツールについて学習する。情報システムを作成するためにチームを作り、プロジェクト管理を行い、システム開発をする。	【知識・技能】 ・情報システムの設計の流れや考え方を理解できる。 ・情報システムの設計の際に使われるツールを知っている。 ・プロジェクト・マネジメントとは何かを理解できる。 【思考・判断・表現】	○	○	○	5
	H 単元 掲示板を作ろう 【知識及び技能】 プログラミングのパラダイムの考え方を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミング言語の選択について考える。 【学びに向かう力、人間性等】	プログラミングパラダイムの考え方を知る。プログラムの設計や目的に合わせてプログラミング言語を選択するために、言語プロセッサについて、その種類を学習する。開発環境の存在や使い方を学習する。作成した掲示板の動作を確認する。	【知識・技能】 ・人に分かりやすいプログラムを書くことの重要性とその実現のためのプログラムの書き方を理解できる。 ・プログラミングパラダイムの考え方を理解できる。 ・開発環境を知り、活用することができる。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7
							合計

高等学校 令和6年度 教科

総合 科目 総合的な探究の時間

教科：総合 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：(1組：富田・増田・内田・栗原)

使用教科書：(「人間と社会」人間としての在り方に関する教科書)

教科 総合 の目標：

【知識及び技能】よりよい人間関係を築くこと

【思考力、判断力、表現力等】学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける

【学びに向かう力、人間性等】現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよく前向きに生きられるような精神を育てる	学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける	現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
序章 人間と社会～学習の視点 よりよく前向きに生きるために	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 強く生き抜く精神づくり 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
第1章 生きることの意義 他者との関係など						
第2章 学ぶことの意義 賢く生きるには	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 頭を活性化させる方法 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと日々のよりよい習慣を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、働き方のいろいろとキャリアプラン	○	○	○	3
第3章 働くことの意義 経済的・社会的自立に向けて 自己満足・自己達成感・自己実現						
1学期 定期考査			○	○		1
第4章 役割とマナー 家族関係・社会関係	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活に学びを取り入れた	○	○	○	8
第5章 マナーとルール 自由と公共・社会規範						
第6章 言語コミュニケーション・非言語 コミュニケーション	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コミュニケーション力を身につけよりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会に役立つ言葉、世界的コミュニケーションを学ぶ	○	○	○	3
第7章 選択し行動する 自立的思考と行動						
定期考査			○	○		1
2学期 第8章 チームを動かす力 リーダーシップとは何か	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	3
第9章 ワークライフバランス 家庭家族との時間						
第10章 お金の意義 収支の管理と租税	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
第11章 消費者市民社会 エンカル消費の意味						
3学期 第12章 支えあう社会 自助共助公助、ボランティア活動 多文化共生社会とは	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	3
第13章 地域社会を築く 個人・家族・地域社会の創造						
第14～19章 自然、学技術と生命倫理、グ ローバル化、人権と国際平和	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
						合計
						28